

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
勝島王冠	2018/12/5	SII	大井	1800m	スローペース	良	展開、世代の能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ユーロピート	セ9	57	赤岡	スズカマンボ	サンデー系	エリシオ	ノーザン系	C	A	D	C	C	C		
2	2	リコーワルサー	牡3	53	笹川	ブラックタイド	サンデー系	デヒア	ノーザン系	C	B	B	B	B	B	△2	
	3	ディアドムス	牡6	57	御神本	ジャングルポケット	ナスルーラ系	アグネスデジタル	ミスプロ系	C	A	B	C	B	C		
3	4	キャプテンキング	牡4	57	坂井	ファスリエフ	ノーザン系	ブライアンスタイム	ロベルト系	C	C	B	A	B	B	△3	
	5	ミヤジマッキー	牡8	57	瀧川	スパイクユール	サンデー系	マルゼンスキー	ノーザン系	D	B	D	D	D	D		
4	6	ムサシキングオー	牡9	57	和田	キングヘイロー	ノーザン系	ラストタイクーン	ノーザン系	D	B	C	D	C	C		
	7	モジアナフレイバー	牡3	53	繁田	バトルブラン	ミスプロ系	フレンチデビュティ	ノーザン系	B	B	A	B	B	B	○	
5	8	グルームアイランド	牡7	57	西	ヤマニンセラフィム	サンデー系	サクラチヨノオー	ノーザン系	D	C	C	C	C	C		
	9	リッカルド	セ7	58	矢野	フサイチリシャール	ノーザン系	オペラハウス	ノーザン系	A	A	B	A	A	B	▲	
6	10	クリスタルシルバー	牡3	56	岡部	サムライハート	サンデー系	アジュディケーティング	ノーザン系	B	B	B	C	B	B	△1	
	11	ディアデルレイ	牡7	57	吉原	キングカメハメハ	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	C	A	B	C	B	B	×1	
7	12	サージェントバッジ	牡6	57	藤井	ステイゴールド	サンデー系	Fusaichi Pegasus	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
	13	ヒガシウィルウィン	牡4	57	森	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ブライアンスタイム	ロベルト系	A	A	B	A	A	B	◎	
8	14	ゴードー	牡10	57	安藤洋	プレシャスカフェ	ノーザン系	コノミテイオー	ザテトラーク系	D	D	D	C	D	D		
	15	キングニミッツ	牡5	57	石崎	スパイクユール	サンデー系	Kingmambo	ミスプロ系	D	C	C	B	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
キング ヒガシ リコー ゴーデ グルー モジア クリス デイド ユーロ ディデ ムサシ サージ ミヤジ	<p>先週に行われた J R A のチャンピオンズカップでは 3 歳のルヴァンスレーヴが古馬を撃破してダート界の頂点に。古馬の大将格ゴールドドリームが不在だったとはいえ、世代交代を印象付ける結果となった。南関東に目を向けると、マイルグランプリで 3 歳のクリスタルシルバーがヒガシウィルウィン、リッカルドを下して勝利。春無冠に終わったクリスタルシルバーがああ勝ち方をするとすることは、やはり今年の 3 歳勢は J R A だけではなく、地方もレベルが高いのだろう。今回はそのクリスタルシルバーに加え、秋初戦のスターバーストカップを制したモジアナフレイバー、羽田盃 2 着のリコーワルサーが出走。今年の勝島王冠は古馬勢（ヒガシウィルウィン、リッカルドら）vs 3 歳勢（クリスタルシルバー、モジアナフレイバー、リコーワルサー）の争いになりそうだ。ここは本命と対抗の 2 頭から勝負したい。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は古馬のヒガシウィルウィンが意地を見せる。（以下省略）</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ユーロビート		長距離戦でこそ良さが生きるタイプ。1900m以下は【0.0.2.9】。1800mは距離不足だろう。		
2	2	リコーワルサー	△2	同世代のモジアナフレイバー、クリスタルシルバーと比較すると、一枚落ちる感があるものの、レースセンスの良さは大きな強み。今回は逃げ、先行勢が明らかに手薄。好位2番手の内でロスなく立ち回れば、意外と健闘するかもしれない。		
	3	ディアドムス		転入当初は南関東の中距離路線を背負う存在になるかと思われたが、プリリアントカップでリッカルド、ターピランスの3着に敗れた後、大井記念9着、トゥインクルバースデー賞7着と結果を残せず。どうも走るほうに気持ちが向いていない印象で、こうなると復活はなかなか難しいのでは。		
3	4	キャプテンキング	△3	長期休養明けで挑んだ前走マイルグランプリでは勝ち馬クリスタルシルバーから0.9秒差の8着に敗れたが、展開が明らかに厳しく、着順ほど悪い内容ではなかった。今回は前走の出脚なら本馬が逃げる形になりそう。スローペースの逃げに落として淡々と運べれば、残り目があってもいいだろう。		
	5	ミヤジマッキー		オープン特別でも苦戦が続いている現状。重賞では荷が重い。		
4	6	ムサシキングオー		年齢を重ねて能力ダウン。前走マイルグランプリでは12着に大敗。今回も苦戦必至だろう。		
	7	モジアナフレイバー	○	秋初戦のスターバーストカップはスタートで致命的な出遅れ、スローペースの二重苦も、直線でリコーワルサーに馬なりで並びかけ、軽く促しただけで完勝。リコーワルサー相手にあのパフォーマンスができるということは、ひと夏を越して期待通りパワーアップしたのは間違いない。		
5	8	グルームアイランド		前走埼玉新聞栄冠賞はメンバーレベルが相当低かった。今回のメンバーでは苦戦必至。		
	9	リッカルド	▲	前走マイルグランプリは逃げ、先行勢が総崩れしており、早めに動いた本馬には厳しかったレース。今回は逃げ、先行勢が手薄なメンバー構成。一転して展開の恩恵を受けそうで、正攻法の競馬で挑めば、前走のような敗戦はないだろう。		
6	10	クリスタルシルバー	△1	マイルグランプリが展開とコース取りの恩恵を受けての勝利。ヒガシウィルウィン、リッカルドを下したことは素直に評価していいが、上手く行き過ぎた面がある。今回は展開、枠順ともにマイナス。斤量も増えるので、勝ち切るまではいかないだろう。		
	11	ディアデルレイ	×1	転入初戦のマイルグランプリは3番人気11着と大敗したが、転入初戦惨敗→2戦目激走はよくあるので人気は急落するなら念のために押さえておいてもいいだろう。JRA時代の実績を考えれば、もっと走ってきてもいい。		
7	12	サージェントバッジ		南関東に転入後は苦戦続き。馬が走る気力を失くしている。		
	13	ヒガシウィルウィン	◎	前走マイルグランプリは1コーナーで不利があって流れに乗れずの敗戦。道中は終始外々を回らされてしまい、コースロスも非常に痛かった。勝ち馬クリスタルシルバーは2番ゲートから終始ロスのない立ち回り。勝ち馬とは不利やコース取りの差と見ていいだろう。		
8	14	ゴードイー		近走は南関東重賞で苦戦続きの上、1800mは明らかに長い。回ってくるだけで終わるのでは。		
	15	キングニミッツ		春の大井記念では8着に完敗。この距離このメンバーでは苦戦必至だろう。		